

畑中政春 はたなか まさひろ 評論家。明治四十年九月一日愛媛縣生れ、昭和四十八年三月六日歿（九〇七一七三）。昭和四年神戶高等商業學校卒。七年朝日新聞社入社、十五年から十九年までモスクワ特派員、二十一年朝日新聞労働組合執行委員と、二十五年レッド・パージで退社。爾後平和運動に従事。アジア太平洋地域日本平和連絡會事務局長、平和擁護日本委員會書記局長、日ソ親善協會常任理事、日朝協會理事長等を務めた他、日本ジャーナリスト連盟副會長、日ソ通信社社長等多くの役職に任じた。

著書『ソソ聯の國民生活』（昭和二十二年一月千日岩波書店）「新しき歩みのためにも」（『ジャーナリズム入門』（合著・日本ジャーナリスト連盟編、昭和二十二年一月十五日銀杏書房）、『共產主義への50の疑問』（合著・理論社論集部編、昭和二十六年十月十五日理論社）、『ソヴェトの外交』（昭和二十七年七月）日岩波書店「岩波新書」）等。

